

バイオ教授の「世界の大学・研究所」

リュブリャナ大学：スロベニア

白楽ロックビル

お茶の水女子大学大学院・人間文化創成科学研究科・ライフサイエンス専攻



(出典：<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/europe.html>)

2006年6月、欧州11カ国目の滞在国スロベニア（Republic of Slovenia）の首都リュブリャナにやってきた。スロベニアでは、スロベニアの最高学府・リュブリャナ大学(スロベニア語で Univerza v Ljubljani、英語で University of Ljubljana)を探検することにした。

クロアチアのザグレブからスロベニアのリュブリャナへ

クロアチアのザグレブから、電車で4時間、スロベニアのリュブリャナにやってきた。

クロアチアのザグレブから電車できたが、国境を越える時、電車を乗り換える。クロアチアの電車はボロイが、スロベニアの電車はとても綺麗で、新幹線より綺麗だ。格差が激しい。スロベニアは豊かな国という印象だ。

スロベニアの電車



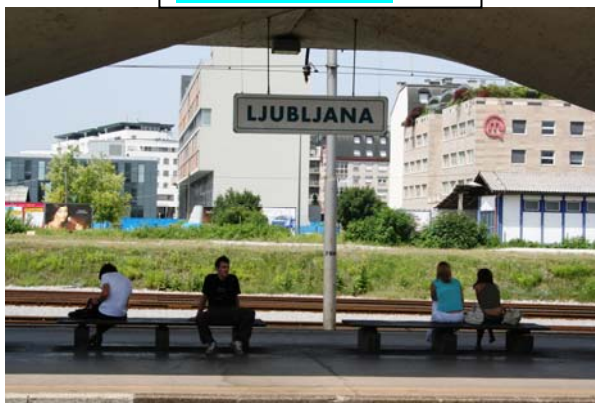
スロベニアの電車沿線



スロベニアの人口、言語、通貨、水

まずスロベニアの概略を書いておこう。不肖・ハクラク、スロベニア（Republic of

リュブリャナ中央駅



Slovenia) は初めて訪問する国で、来る前の予備知識はなく、イメージも空白だ。1991年に独立した新しい国で、人口は199万人で、首都のリュブリャナ Ljubljana に33万人が暮らしている。面積は、2万256km²で、四国とほぼ同じ大きさだ。

EUに2004年5月加盟したメンバー国だが、入国時にパスポートを提示した。入国カードは不要。言語はスロベニア語でチンプンカンプン。

通貨は、トラール Slovenian Tolar (SIT) で、1トラール= ¥0.6 である。リュブリャナ駅でも観光地でも両替商はいるが多い感じはない。2006年1月にユーロの採用を決め、訪問時は、すべての商品にトラールとユーロが併記されていた。ユーロ払いも可能だそう。ただ、ATMからお金を引き出すとトラールである。アパートの案内をしてくれたアパート業者「Apartmaji」の20代女性のティーナの話だと、ユーロに変換し物価が高くなったとのことだ。それに伴い、給料も上がるからいいけどと付け加えた。日本の物価に比べると食料品は安い。

水道水は飲める。滞在中の気候は、快晴で暑く夏だ。湿度も高い。

街のトイレは有料だ、あまり試していない。

電源はCタイプで220V 50Hz。

治安に関して、安全で、警官やパトカーも見ないということになっているが、実際は見かける。観光地の外れに、ホームレス風の人が見た。乞食は見えていない。建物の壁は綺麗だ。

宿泊場所と宿泊場所への行き方

不肖・ハクラク、首都に大学があるので、首都リュブリャナに泊まった。

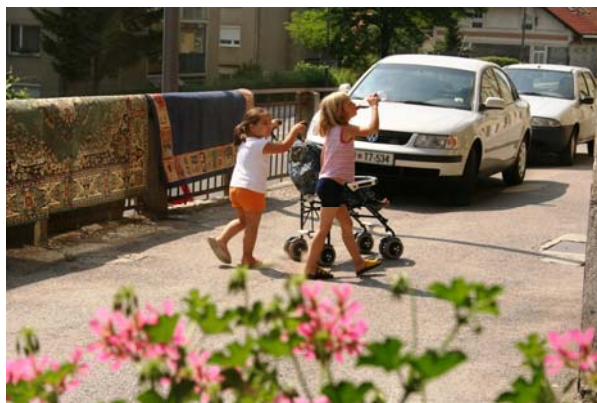
宿の室内

リュブリャナ市内のアパート・ブレダ (Breda) の0階に宿泊した。インターネットでアパート業者「Apartmaji」に予約した。1泊平均60ユーロ(税込み、朝食なし)だが、現地通貨のスロベニアトラ



宿の外で近所の子供が遊ぶ

ル 2 人 1 泊 13,900 SIT (58 EUR) + tax 2 x 242 SIT (2 EUR) で、SIT 払い (60 x 6 = 360 ユーロ)。(13,900 + 2 x 242) x 6 = 86,304 トラル SIT を払った。WiFi インターネットはない。



行き方は、リュブリャナ中央駅下車して、徒歩だと 30 分程度。バス 3 番に乗るか電車だと 2 駅だ。実際は、リュブリャナ中央駅から歩いて数分で、予約したアパート業者「Apartmaji」の事務所で手続きをした。その後、その 20 代女性の事務員・ティーナが自動車で連れてきてくれた。ラッキー。

アパート・ブレダ (Breda) の 2 階 (こちらで 1 階) に大家さん一家が住んでい、1 階の普通の部屋を貸してくれる。キッチンもあり、住む感覚。室内は快適だが、便利度は落ちるし、車の音はうるさい。おすすめ度△。

観光地の観光客の数はスゴイ。観光資源があるように思えないが、リュブリャナ川の歩行者天国は人々がゴッタがえしている。土産物屋も多い。黒人、アラブ人などの人種の多様性はない。アジア人も珍しいのか、人々 (特に子供) がこちらを見る。

リュブリャナ大学の全体像

リュブリャナ大学本部棟



リュブリャナ大学



リュブリャナ大学の学生



リュブリャナ大学の学生



リュブリャナ大学は、大学ランキングで、スロベニア 1 位だが、欧州 123 位内に入っていない。世界 300 位にも入っていない。(表 1)。

リュブリャナ大学は、スロベニア 1 位と書いたが、スロベニアには大学は 3 つしかない。リュブリャナ大学は、1919 年創立で、マリボル大学は 1975 年頃創立だし、プリモルスカ大学は 2003 年創立だ。

表 1. リュブリャナ大学 (University of Ljubljana) の全体像

リュブリャナ大学	
国公立	国立
大学ランキング	スロベニア 1 位 欧州 124 位以下 世界 300 位以下
所在地	首都
古さ	1919 年創立
学生・院生数	56,000 人
アカデミック・スタッフ数(内・教員数)	3,500 人
職員数	900 人

リュブリャナ大学の学部構成

大学は以下の 22 学部からなる。学科数/学生数 (2005/2006 年度) が続く。

1. **Biotechnical faculty** 7/3847 →
2. Faculty of Economics 11/8429
3. Faculty of Architecture 7/972
4. Faculty of Social Sciences 4/4827
5. Faculty of Electrical Engineering
-/2186
6. **Faculty of Pharmacy** -/997
7. Faculty of Civil Engineering and
Geodesy 2/1879
8. Faculty of Chemistry and Chemical
Technology 3/1621
9. Faculty of Mathematic and Physics 2/1083



リュブリャナ大学・生物技術学部の新棟 (畑の向こうにモダンな建物)



リュブリャナ大学・生物技術学部の新棟

10. Faculty of Maritime Studies and Transport 2/1749
11. Faculty of Computer and Information Science -/1437
12. Faculty of Social Work -/1685
13. Faculty of Mechanical Engineering 1/1955
14. Faculty of Sport -/1195
15. Faculty of Public Administration -/3945
16. Faculty of Arts 21/7499
17. Faculty of Medicine 2/1714
18. Faculty of Natural Sciences and Engineering 5/1776
19. Faculty of Education 9/2570
20. Faculty of Law -/1925
21. Theological Faculty -/648
22. Veterinary Faculty -/401

特徴は、「Biotechnical faculty」「Public Administration」「Social Work」などが学部として独立している点だ。

理系の学部は、生物技術学部、化学・化学技術学部、数物学部、コンピューター情報学部など、日本では理学部や工学部内の1学科が、学部として独立していることだ。日本の理学部構成に無理があると感じる。

バイオ関係は生物技術学部、薬学部、医学部、自然科学工学部、にくくられる。

文献（網羅的ではない）

1. University of Ljubljana 2006-2007 (リュブリャナ大学自然科学部で講師の Uros Herlec さんにもらう)

リュブリャナ大学・生物技術学部の新棟 1階玄関と受付



リュブリャナ大学・生物技術学部の新棟 1階ロビー



リュブリャナ大学・生物技術学部の新棟 1階ロビー



リュブリャナ大学・生物技術学部の学生控室



2. インターネットサイト

注意

写真は、出典が示されていないのは、著者が撮影したものです。記載した内容に、著者の誤解や元データの間違ひはあると思うが、十分な検証をしておりません。そのことによる読者の不利益、不都合に、著者は責任を負えません。また、文献引用は徹底しておりませんが、不記載でも、盗用の意図はありません。

